

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立東住吉高等学校
校長名	西田 恵二

開催日時	令和7年6月27日(金)14:00～16:20
開催場所	東住吉高校 校長室
出席者(委員)	竹内会長、川本副会長、名和委員、南野委員、菅原委員
出席者(学校)	西田校長、和田教頭、松元事務長、安達首席、成川首席、佐伯教諭
傍聴者	
協議資料	令和6年度学校学校評価及び令和7年度学校経営計画等 令和6年度進路結果 令和10年度選抜の学校特色枠
備考	

議題等(次第順)	
報告 ・令和6年度学校学校評価及び令和7年度学校経営計画等 ・令和6年度進路結果 ・令和10年度選抜の学校特色枠	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
【選抜の学校特色枠】 ・学力のみを重視するというのは、本校の「2兎を獲る」という理念にそぐわない。 ⇒他にもグローバルな人材の育成という観点から英語の学力を重視することも検討したが、体育祭やボランティア等の他の自主活動もある中で2兎めを獲る意欲を作文等により図りたい。 ・本校の志願者数は多いので、特色枠ができることで入学する生徒が変わることがあるのか。 ⇒今、本校に来ている生徒たちは勉強だけでなく、自主活動に力を入れている子どもが多い。その部分が評価されており、本校の様々な取り組みが継承されている。そういった生徒が志願することを期待する。 ・特色枠がなぜ作られるのか。 ⇒私学の無償化など、高校の教育活動に関わる状況がここ数年で大きく変化してきたため、入試制度、入試日程などを見直す必要がある。公立も各学校の特色が求められている。 ・入試の作文のテーマや文字数などのように考えているか。 ⇒事前提出では受験者の意欲を適切に図ることが難しいため、試験当日に記述することを想定している。これまで何を頑張ったかではなく、高校入学後に何に取り組みたいのか、意欲を図るためにより良い方法を検討していく。 ・ヒガスミはとても良い取り組みをしている。これまで素晴らしい生徒が入学して頑張ってきたので、選抜の変更があってもそういった生徒が入学してくれることを望んでいる。 ・本校は志願者が多いので、特色枠が設けられても前向きに取り組む生徒が入ってくると思うが、志願者数が充足していない学校はどのような選抜をするのか、難しいのではないか。これが今の公立高校を取り巻く問題を解決する手段とは思えない。各学校に任じた特色ではなく、同じ特色や学科をもつ学校どうして方向性を示していくべきではないか。 【国際交流】 ・これまでの台湾との交流に加えて、ニュージーランドとも交流が継続するのであれば、緑友会として支援方法を検討していく。	
日時	令和7年11月15日(土)10:45～12:00
会場	東住吉高校 校長室